

羽生市のご案内

羽生市は、埼玉県の北端に位置し、日本最大の流域面積を誇る利根川を背にしています。豊かな水と肥沃な大地に恵まれ、古くから農業と藍染めのまち、そして東日本一の衣料の町として栄えてきました。

これらの特色を生かし、羽生市は都市と農村が交り合った「物づくり」のまちへと変貌をとげました。衣料からファッション産業、そして自動車産業へとシフトし、現在では県下有数の工業生産出荷都市に発展しました。

また、近代化が進む中で、農業分野では埼玉県の推奨米「彩のかがやき・彩のきずな」など、うまい米づくりを中心とした安全と安心の農産物づくりへ転換しています。

市街地から少し足をのばすと、豊かな田園風景が広がっています。春夏秋冬の様々な姿と夕陽の美しい利根川、淡水魚ばかりを集めた県営さいたま水族館、朝どり野菜がおいしい三田ヶ谷農林公園「キャッセ羽生」、グライダーの体験搭乗ができるスカイスポーツ公園もあり、人々の憩いの場となっています。

平成19年度には、国道122号線昭和橋のそばに河川防災ステーション及び「道の駅はにゆう」が完成、そして川崎産業団地内には年間集客力約1,000万人を誇るイオンモール羽生もオープンしました。

また、羽生市のイメージキャラクター「ムジナもんとその仲間たち」による積極的なまちおこしの取り組みとして、「世界キャラクターさみっとin羽生」を開催しております。

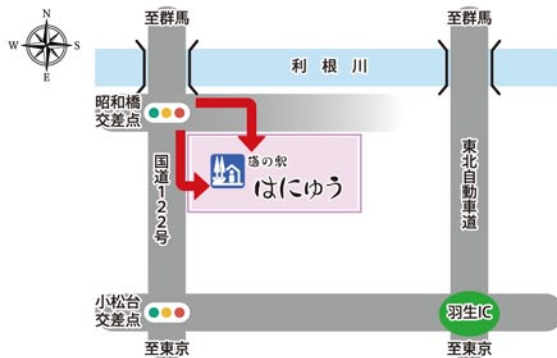
羽生市の成り立ち

利根川沿いの羽生のまちは、水利がよく土地も肥え、早くから農耕文化が栄えたところで古い塚や古墳、出土した埴輪はそのことを証明してくれます。このため羽生の地名は埴輪から転化したものだといわれています。

歴史上、羽生という地名が出てくるのは文明10年(1478年)の太田道灌の手紙に「武州羽生の嶺にたてこもり」と書かれているのが最初です。その後「羽生城」ができ、その支配する領分を羽生領と呼ぶようになり、「羽生」の地名が広まったと考えられます。徳川家康が江戸に幕府を構えると、江戸を守るかなめとなり、幕府直轄の天領や旗本領が多くなり、領有関係は細かく入り乱れました。

徳川時代の小規模な村々49ヶ村は、明治期に入り合併が繰り返され、明治22年市町村制施行により1町8村が成立しました。昭和29年9月1日には、羽生町ほか6村が合併し羽生市が誕生、県下16番目、全国で434番目でした。(世帯数—6,604戸、人口3万6,564人)その後、昭和34年4月1日に千代田村を編入し、現在に至っています。

スタンプ



- ★一般国道122号より
 - 群馬方面から昭和橋交差点直後のアクセス道路より進入。
 - 東京方面から昭和橋交差点を右折し、直後の入り口を右折して進入。
- ★高速道路より
 - 東北自動車道羽生インターチェンジを下りて、つき当たり丁字路を右折、そのまま直進し小松台交差点を右折。昭和橋交差点から右折し、直後の入口を右折して進入。インターチェンジより約20分。



施設のご案内

- ◆**駐車場** 102台
(小型車45台、大型車55台、身がい者2台)
- ◆**利用時間**
 - 物産販売施設 午前8時30分～午後7時
 - レストラン 午前10時30分～午後6時
(スープがなくなり次第終了)
 - 情報提供スペース 午前8時30分～日没
- ◆**休館日** 1月1日



道の駅 はにゆう

〒348-0041 埼玉県羽生市上新郷7066番地
TEL048-560-1010



道の駅
はにゆう



羽生市イメージキャラクター「ムジナもんとその仲間たち」

物産販売施設



農林水産省選定「全国郷土料理百選」に選ばれた「いがまんじゅう」。夏祭りや祝いの際に作られてきた縁起物で、現在でも郷土の味として親しまれています。



明治の文豪、田山花袋の名作「田舎教師」の舞台となった羽生市。武州羽生の麺の逸品や、草加せんべいの生地に入れた大豆を入れたせんべい、羽生産モロヘイヤを使用したうどんなどを販売しております。



濃厚ジュース大人気みるくソフトを香ばしい特大モなか詰めました。



物産販売施設

- 市内を中心とした生産者が直接納入。
- 地産地消の促進を図ることにより新鮮な食材や土産品がお求め頂けます。
- 出品者を随時募集しております。※要相談



羽生市のイメージキャラクターミナモんと仲間たちのグッズやせんべいなども人気



レストラン

・地場産のとれたて野菜などの新鮮な食材を主に使用した様々なメニューをご用意しております。



羽生市で育てられた金魚やメダカなどのコーナーも充実



景色の綺麗な駅



道の駅にはゆうから見た北側の風景です。天候によりますが、利根川と日光連山を見渡すことができます。

レストラン



焦がしネギの香るスープが絶品のラーメン



羽生市の魅力がいっぱいだもん

情報提供スペース



パンフレットやポスター等の掲示により、羽生市に関する観光情報をはじめ、埼玉県内外の様々な情報を発信しております。



情報提供用パソコンやテレビが設置されており、道路交通状況、羽生市をはじめとする地域の最新情報、防災情報等を提供しております。



昭和橋からみた初日の出です。道の駅からの夕日など、その雄大な景色は、自然の素晴らしさを改めて実感させてくれます。



川俣踏切跡

1594年、徳川家康の命令で、忍藩の家老・小笠原三郎左衛門がそれまで分流していた利根川水路のうち、会合の川筋を締め切った跡です。以後江戸や水城の治水がはかられ、広大な新田開発が進められていきました。



関口義明先生の顕彰碑

「あゝ上野駅」で知られる羽生市出身の作詞家関口義明氏の功績を称える顕彰碑があり、設置されたボタンを押すと「あゝ上野駅」の歌も流れます。また情報提供スペースには、関口義明氏のアルバムも展示しております。

